

# あきつ

2022年10月15日発行

第635号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

## 秋津療育園に

### 輝く未来を！

理事長 飯野 順子

街路樹のハナミズキが、深紅に色づき、街は秋色に染まり、夏の酷暑と新型「コロナ」の脅威から、解放されたと感じています。今年、秋津療育園は、創立64周年を迎えました。「コロナ」のため、式典は取り止めになりましたが、今年は、戦火の中にあるウクライナの平和と入生の平安で幸せな日々を、祈り、考える日にしたいと思います。

秋津療育園の中庭には、「ウソトリ」が、豎琴の音に包まれて、平和に向かって羽ばたく、「倅せの像」があります。この「倅せの像」には、平和への希求とともに、苦闘の歴史の中で、どんな困難に出会っても、希望をすくすく、歩み続けたと書いてあります。

私は、創立記念日のあきつとして「先人たちの開拓精神に学びつつ、秋津療育園の将来構想の実現に向けて、歩み始める第一歩の日とすることを誓いたい」と伝えました。

また、この2年余の「コロナ」の状況は、入所施設のあり方も変えました。生命を守るために、変えざるを得ない状況となり、



創立記念日に故利用者の墓参りをする当園職員

建て替え等の将来構想の実現を、一日も速くそして真剣に加速化すべきとの思いも強くなりました。「秋津療育園に明るい未来を！」です。

現在の建物は、1992(平成4)年7月に全面改装が完了しました。以来、30年を経過していますが、この間の社会的変化は著しいものがあり、その変化に追従できなくなっています。

秋津療育園がこの地にある意義は、利用者とそのご家族、職員ならびに地域社会から必要とされることです。このため、療育環境や就労環境を改善し、さらに地域「コミュニティ」の場としての機能が期待されています。

詳細は省きますが、将来構想の基本は次の三項目です。

1. 法令上ならびに各種感染症の感染拡大防止にもとづく入所スペースの確保
2. 利用者の高齢化・重症化への対応
3. 情報化に関する基盤整備

将来構想の実現に向けて最も大きな課題は、建て替え用地の取得です。率直に言いますと、むしろ最も困難な課題です。利用者の幸せな生活の実現のためにも、力を尽くしたいと思う今日この頃です。

### 「635号」目次

秋津療育園に輝く未来を	1頁
「通園センター」DayNews	1頁
特集！ 働く人「薬局」	2頁
活動！ 「アロマセラピー」	3頁
秋津 ナイスショット！	3頁
就職2年目「今思うところ」	4頁
漫画「100日後に就職するウサギ」	4頁
栄養管理室「秋津レシピ」	4頁
秋津アーカイブス	4頁
ご寄付いただきました	4頁
あとがき	4頁

## 運動会 通園センター

5月の多摩地区施設交流会で実施した「じゃんけん相撲」を改良して、利用者それぞれの機能を活かせるように、手の形に合わせた補助員を作成。じゃんけんマスのサイコロを転がし、落ちるのが見やすいように逆さに「ボール傘」を設置し、床上でも車椅子上からも見えるように改良しました。練習がたくさんできたことで、本番では皆、大成功！！

「コロナ対策もあり、1階と2階をリモートで繋ぎ、みんなで応援をしながら、楽しみました。」





働く人シリーズ。今回は「薬局」で働く職員さんです。

職員数と勤務体系を教えてください。

薬剤師2名が日勤で勤務しています。

主な仕事内容はなんですか？

「調剤」「医薬品情報管理」「医薬品管理」が主な仕事です。



チームワークが自慢の薬局職員



たくさんの薬が並んでいます

調剤はどのようにされるのですか？

「調剤」とは、医師の処方箋に従って薬剤を調剤することです。

調剤は、まず医師から渡された処方箋の内容の確認をします(処方監査)。次に、重複投与がないか?「薬剤名」の確認、「副作用」や「アレルギー」はないか?用量、用法は適切であるか?服用している薬ごとの飲み合わせは良いか?などを確認します。ここで不備や疑問があった場合は、速やかに処方医師に疑義照会を行い、問題がない場合に初めて「調剤」を行います。

全て確認してから調剤するんですね。そうですね。そして調剤後の最終監査を行います。原則は別の薬剤師が行います。

このような経過を経て初めて利用者さんの所へ届けます。

そうですね。安心して服用できるわね。

内用薬の調剤は、服用、管理がしやすいように、全て一包装しています。一包装とは、1回の服用毎にパックするということです。名前・日付・用法を印字して確認panelの投薬ミスを防止しています。

調剤は、「定時薬」「臨時薬」の二通りを調剤しています。

「定時薬」は、曜日毎に1週間分づつを払いだしています。

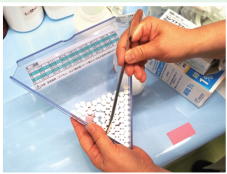
医薬品情報管理はどのような業務なんですか？

医薬品が安全に使用されるために、常に最新の情報が必要ですので、インターネットや文献からの情報は積極的に入手しています。製薬会社に問い合わせをすることで情報を得たり、製薬会社の新薬説明会にも参加します。そうした情報をもとに医師や看護師からの問い合わせにも対応できるようにしています。

そして、新規採用薬・中止薬・名称変更などを薬局のお知らせとして発行します。また、「医薬品在庫一覧」を作成し、発行しています。



毎日フル回転の分包機



錠剤を数える器具「錠剤計数配分器」

情報を共有しながら対応しているんだね。

医薬品管理業務はどんな事しているのかわり？

内用薬・外用薬・注射薬(血液製剤を含む)の品質・在庫の管理。発注・供給などの業務です。毒薬や麻薬など厳格に管理が必要な物もあります。

また、年に1度の棚卸しをする際に薬局及び各病棟の医薬品の保存状態、使用期限なども確認します。

在庫管理も大切なんですね。

気を付けていることはなんですか？

先ほども書きましたが、調剤の際の「監査」は「ダブルチェック」をして誤薬の無いように特に気を付けています。

それと、薬の多くは湿気に弱く、逆に分包機は、冬の乾燥期に発生する静電気が故障の原因となる場合が多かったり、湿度の調整には気を使っています。

なるほど、湿度管理も大事なんですね。

苦労していることはありますか？

一般の病院での調剤は、錠剤が基本となる場合が多いと思われれます。しかし、当園利用者の方々は、異なる量の

「抗てんかん薬」を処方されるケースが多く、一定量の錠剤では対応できない場合が多いですので、散剤調剤が基本となります。

散剤とは、経口投与する粉末状の状態の製剤です。

ついで写真のような粉碎機(ミル)を使って、錠剤を散剤にします。それから量りを使って処方分量にしています。

また、カプセル剤はカプセルを開けてバラの状態にしてから、量っています。



カプセルを開け、薬をバラにして調剤する



錠剤は粉碎機(ミル)を使って散剤にする

この作業をするため、分包機はフル回転しています。そういつ点で苦労しています。(笑)

錠剤をわざわざ散剤にしているのね。

カプセル剤もばらして使っているんだね。

仕事の中で、大切なことはなんですか？

チームワークですね。新しい仕事の依頼や変更などがあつた場合は、二人でアイディアを出し合っていますし、困っているときも、お互いにフォローできています。

チームワーク。大事ですね。

今後の課題はなんですか？

先ほど散剤の話にもありましたが、一般病院と比較すると、非効率な要素が出てきてしまいます。これは致し方ないことですが、医師や看護師の負担軽減となるような工夫をしていきたいらなと、考えています。

注1 内用薬は経口投与により適用される薬、内用散剤(細粒を含む)、顆粒、カプセル、錠剤、カプセル剤など

注2 定時薬は「定期薬」とも言う、症状に関わらず、定期的に飲む薬

注3 臨時薬は定期的である薬以外で、症状がある時や必要な時にだけ使用する薬

注4 外用薬は皮膚の表面や粘膜や「体の外部」に適用する薬、湿布、軟膏、うがい薬、目薬、吸入剤など

注5 抗てんかん薬は脳の神経細胞が過度に興奮し、けいれん、意識の喪失といった発作があらわれ、がんの治療に用いられる薬

## 活動紹介③

## 「SH」サウンドヒーリング その3回目

活動



前号、前々号ではマインドフルネスと音叉について記事にさせていただきました。最終回の今回はアロマトリートメントについてお話しいたします。アロマトリートメントのお話しをする前に、そもそも人をリラックスさせるとはどのようなことでしょうか？

これは、本を読むことや音楽を聴く、他にもスポーツすることだったり、旅行することなどでしょうか？人それぞれ違うと思います。広辞苑によりますと、

「リラクゼーションとは、心身の緊張をときほぐすこと、リラックスすること」医学的には、「ストレス反応として交感神経が興奮するのに対し、副交感神経の働きを優位にすること」とあります。

そこで、リラックスとは過度の緊張反応を中和させ

ることと考えてみました。リラックスする方法は人それぞれです。

そして重心では自分でコントロールするということがある面で難しい方が多く、どうしたらリラックスしていただけるのか。ということでSHの内容に入ります。

SHはアロマトリートメント・音叉セラピー・マインドフルネス。この3つを組み合わせた活動です。ですが、メインはアロマトリートメントになると思います。アロマトリートメントは、精油をキャリアオイルで希釈したブレンドオイルを、身体に塗布して、血行とリンパの流れを良くする手技療法のことを言います。

次に、当園での使用頻度が高いアロマを一部ご紹介いたします。

## ★ティーツリー オレンジ

このオイルはどちらも殺菌作用に優れています。意外なことに、オレンジはレモンより殺菌作用があります。

## ★ラベンダー マジョラム

非常によく使用するオイルです。どちらも神経系に働きかけますが、ラベンダーは、オレンジと組み合わせると、睡眠障害の方へのトリートメントに使用したりもします。マジョラムは筋肉のコリを和らげるので、ラベンダーと組み合わせ、痛みを軽減させるトリートメントなどによく使用しています。

他にも様々なオイルを使用しますが、トリートメントの目的別に職員が配合しております。尚、利用者全員にパッチテストを実施しております。エッセンシャルオイルの効果や効能については、多くのエビデンスがありますが、身体特性や、てんかん発作の有無、アレルギーがあるかどうか等、園生の状況に応じた対応が大切です。

トリートメントにより受け手、施術者ともに幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンが分泌されます。オキシトシンは、ストレス反応の調整や情緒の安定などの作用があり、注目されているホルモンです。またトリートメントにより緊張がほぐれ、筋肉のコリやリンパの滞りが減り、浮腫みや痛みが和らぎます。

私達はちょっと身体の調子が悪い時に、整体やマッサージに通ったりすることがあります。同じように、園生が必要な時にすぐに施術できるような環境があると、一層効果的ではないかと考えております。

SHスタッフはアロマオイルや身体の知識を十分に向上させていく必要があります。定期的な勉強会の実施だけでなく「資格取得」や「講習会の参加」等を通して更なるスキルアップを目指しています。

以上3回ににわたり「サウンドヒーリング」について紹介させていただきました。



【1棟】スイカ割



【1棟】盆踊り



【2棟】納涼会



【2棟】納涼会



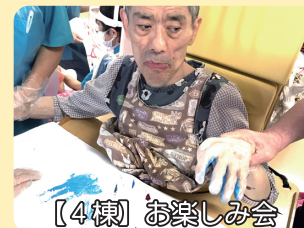
【3棟】納涼会



【3棟】納涼会

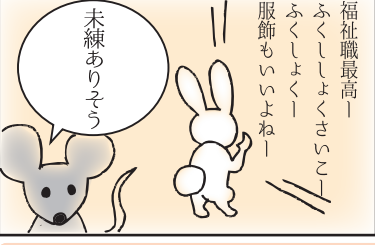
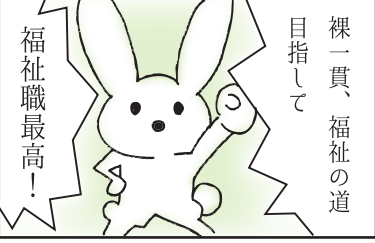
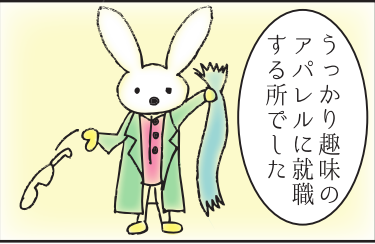
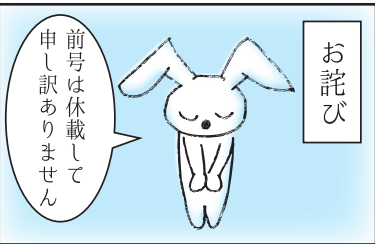


【4棟】お楽しみ会



【4棟】お楽しみ会

100日後に就職するうさぎ 第8話  
作・早川里英



**入職して1年「今更ごところ」を聞きました**

**炊事手**  
笠木 まり

**理学療法士**  
小山 遼

**看護師**  
奥山 茉悠

**看護師**  
村上 達郎

老人保健施設での仕事を長く経験し、今、新たな環境に身を置くことになりました。秋津療育園の利用者の方々と過ごす日々は、想像できなかった経験となっています。自分の役割を全うし、体調管理を怠らず、頑張りたいと思います。

利用者の方との関わりでは、始めは分からなかった訴えや、表情の小さな変化なども気付けるようになりました。声掛けなどで反応が見られたときは嬉しくなります。利用者さんの体調管理では、対応を考えて相談できるようにしました。これからも利用者さんに寄り添った支援をしていきたいと思います。

始めは表情や声、身体の動きなどでの訴えが理解できず、悩むこともありましたが、最近少しずつ分かることも増えてきました。まだまだ、勉強の日々ですが、知識や技術を勉強し、「安心」を持つてもひええと「ソト」を目指したいと思っています。

1年が、野菜切、盛り付けも効率良く、均等に出来ようになってきたと思います。これからは料理も多く担当させて頂き、美味しい物が提供できるように頑張りたいと思います。

**栄養管理室の秋レピ**  
お家で作る秋津の味 No.03

**鯖のネギ味噌焼**

財布に優しい (^)o(^)メニュー

材料1人分

鯖	1切
塩	ひとつまみ
ネギ	20g
しその葉	1枚

味噌 小さじ1と1/2  
砂糖 小さじ1  
酒 小さじ1/3  
みりん 小さじ1/3

① 鯖の両面に塩をふる  
② グリルで鯖を7分通り焼く  
③ ①の調味料は混ぜ合わせておく  
④ 焼いた鯖の皮目に①を塗る  
⑤ ④に焼目が付くまでグリルでもう1度焼いたら出来上がり  
⑥ ネギと、しその葉を細く切り、鯖に添える

①海背川腹と言って、海の魚は背中（皮）から焼きます  
②お好みで白ごまを振っても美味しいです

**ポイント**

たんぱく質・鉄分・EPAが多く含まれ栄養価高い

昭和 35 (1960) 年頃～  
**奉仕の方の事**  
For volunteers



たくさんのボランティアの方がお手伝いくださいました

**秋津アーカイブス 21**

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

ピーク時には、1日2000枚もの布オムツを洗濯していました。毎日ボランティアの方々が入れ替わり立ち替わり「オムツたたみ」に来てくださいました。365日、毎日です。

また、布オムツも手で縫っていました。当園の縫製室職員はもちろんのこと、看護学校や福祉専門学校の学生さんをはじめ、中学生、高校生、各団体の方々や一般の方々まで、膨大な数の「手縫いのオムツ」をご寄付くださったのです。

手のぬくもりを利用者に伝えたいという思いから、開園以来58年間こだわり、続いていた布オムツでしたが、現在は、年々高性能になる「紙オムツ」に切り替わりました。平成27年のことです。

**ご寄付**  
緒方謙二郎様(大田区)・里見芳子様(いわき市)・(株)YC様(横浜市)・武蔵野友の会様(清瀬市)・山本鐵子様(北区)・金子由紀子様(横浜市)・秋津療育園後援会様(東村山市)・よつばの会/林様(東久留米市)・(株)フクガミ様(川崎市)・川口郁代様(所沢市)・東京都清涼飲料協同組合様(文京区)・(株)サンアドセンター様(文京区)  
従業員一同、深く感謝申し上げます。今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます  
社会福祉法人 天童会

**編集後記**  
特集「働く人」も11回を迎えました。取材のたびに「あーこんな仕事もしているんだ。こんな工夫をしているんだな」など、同じ職場にいながら、知らなかったことが、たくさんありました。もちろん外部の方に知っていただきたいと思い、連載を始めた記事ですが、職員にとってもお互いの仕事を理解しあうことが出来るような記事にもなってくれるかな?と想像しています。さて、次号はどの部者を紹介しようかな。(池田ゆ)

**あきつ** 第635号

E-mail: jimukyoku@tendoukai.net  
HP: http://www.tendoukai.jp  
発行人/飯野順子  
発行/年4回1・4・7・10月発行